

日本はダメになった

横浜でストロンチウムが検出され、多くの人が心配しています。

原子炉の中ではセシウムとストロンチウムが同じく6%程度できます。そして半減期もほぼ同じで30年。ベータ線をだし、おそらくは原子炉から吹き出すときには酸化物で、やがて水酸

化物になり水に溶解していくというところまで似ています。さらには比重は3.5から4ぐらいですから何から何まで双子の兄弟と言っ

それより「おそらくは隠しているのだろう」と思っています。

検出されない理由.....

ところがこれまではセシウムが何十万ベクレルという高濃度で発見されているのに、ストロンチウムはその100分の1にもなりません。原子炉の中では同じようにでき、性質も似ているのになぜストロンチウムが観測されないのか？

おそらくは横浜ばかりではなく、神奈川、東京から岩手までかなりの濃度でストロンチウムがあると考えた方が良いでしょう。チェルノブイリでもそうでしたし、もともとの性質を考えたも「セシウムあるところにストロンチウムあり」と考えるべきだからです。

本来ならあるべきストロンチウムが極微量しか検出されなかったことが問題だったのです。

では、なぜ今まで検出されなかったのでしょうか？私はやや犯罪の臭いを感じます。というのは、セシウムは「機器」を使って「人間が操作しなくても」測定できるのですが、ストロンチウムは混合物からストロンチウムだけを取り出してから測定します。だから、その操作の時に「ストロンチウムを故意に捨てる」ということは容易なのです。

かつての日本人はこんな誠意のないことはしなかったのですが、最近の大人の男は平気でします。なにしろ福島や関東の野菜を売るために汚染されていない南の野菜を捨てさせているぐらいですから、何をやるか判りません。

でも、困ったことがありません。太平洋の静岡から北の小魚は汚染されていますし、牛乳は危険で飲むことができません。従って、カルシウムをとるのは、日本海側の小魚、四国、九州、沖縄、海外の小魚、そして海外からの乳製品ということになります。でも、カルシウムが多い豆類などがありますので、情報をよく交換してお子さんがカルシウム不足にならないようにしてください。

ある時に専門家が「ストロンチウムは重たいので東京まで来ない」などと言っていました。科学的な間違いです。おそらくは「そう言えばテレビに出してあげると言われて、他人や子供の健康より自分のことを考えたと思います。」

日本はダメになってしまったのですから、外国で生活するように自衛することです。それには、(1)ストロンチウムはセシウムがあるところはある、(2)カルシウムをとってあげばかなり防ぐことができる、と覚えて自衛してください。国、自治体、専門家、NHKは信用できません。

(有)西川経営オフィスサービス
中村会計 事務所便り
2011年10月14日 (金) NO. 236
地域から明るい未来を作ろう

すでに国民の多くは政府やマスコミが積極的に国民を守るうと思っていないことを知っているの、政府が「なぜ、ストロンチウムは無いのか？」の説明をすることを期待していません。

人間の骨は主としてカルシウムできていますが、毎日、少しずつ溶けて少しずつ食品からのカルシウムで骨を作り直しています。普通の生活をしている人は1日200ミリグラム、寝ている人は1日400ミリグラムのカルシウムが尿中に含まれます。そこで、カルシウムを少し余分にとっておけば、ストロンチウムは骨に入りにくくなります。

一武田邦彦プログ

